

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和3年4月26日（月）

2 確認箇所

瓦礫等一時保管エリアW2

旧研修棟東側

4号機タービン建屋東側（No. 56サブドレンピット近傍）

3 確認項目

- (1) 瓦礫等一時保管エリアW2の再舗装の状況
- (2) 旧研修棟東側に置かれている内容物不明コンテナの現況
- (3) No. 56サブドレンピットの水位計異常の対策状況

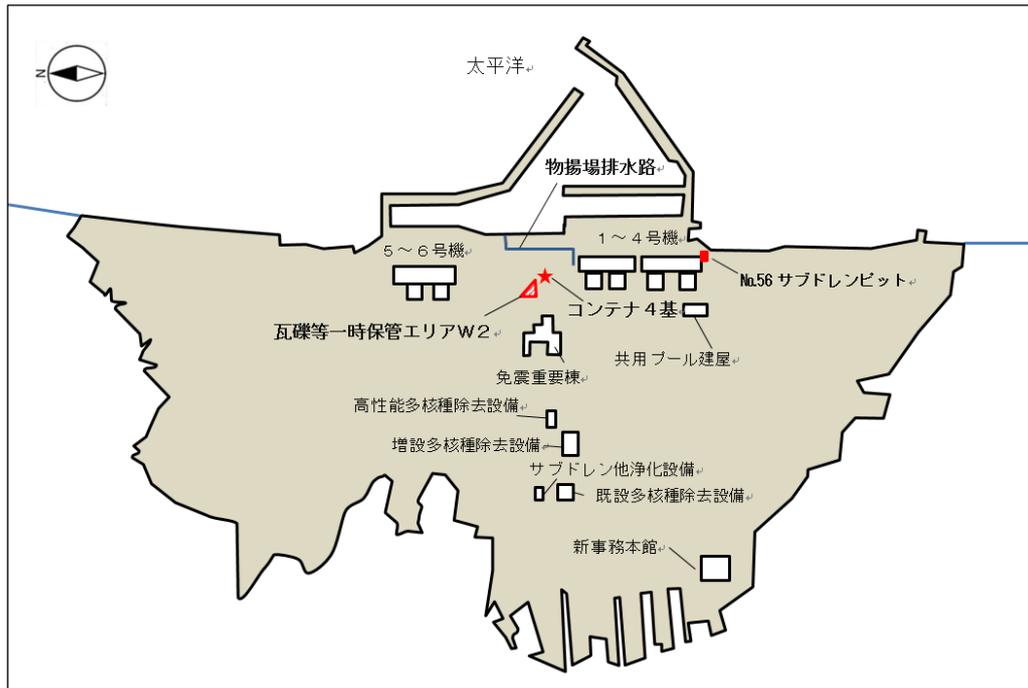
4 確認結果の概要

(1) 瓦礫等一時保管エリアW2の再舗装の状況について

3月2日、物揚場排水路の簡易放射線検知器において「高警報」が発生して全ベータ放射能が高い排水が観測され、その後、東京電力が流域を調査したところ瓦礫等一時保管エリアW2において放射線量率の高いゲル状物質が確認された。（図1）

前回の現場確認（4月15日）では、ゲル状物質が確認された場所付近のアスファルトの剥ぎ取り作業が実施されていたことから、今回、その後の状況を確認した。

- ・現地確認時、作業は行われていなかったが、アスファルトが剥ぎ取られた箇所は再舗装され、表面には飛散防止剤が塗布されていた。（写真1）
- ・東京電力によれば、今後、当該エリアに仮置きされている土砂等の移設作業を行った上で、エリア全体の対策を進めていくとのことであった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
前回の状況 (4月15日撮影)



(写真1-2)
今回の状況 (4月26日撮影)

(2) 旧研修棟東側に置かれている内容物不明コンテナの現況について
瓦礫等一時保管エリアW2近くの旧研修棟東側に置かれている内容物不明コンテナ4基について、現況を確認した。(図1)

- ・前回(4月13日)までにコンテナはシートで養生されていたが、今回、東京電力社員の立ち会いの下、高所作業車を使用して養生シートの撤去作業が行われていた。(写真2)
- ・東京電力によれば、明日、固体廃棄物貯蔵庫第2棟に運搬する予定とのことであった。



(写真 2-1)
養生シート撤去作業の状況①
(撤去中)



(写真 2-2)
養生シート撤去作業の状況②
(撤去後)

(3) No. 56サブドレンピットの水位計異常の対策状況について

No. 56 サブドレンピット (以下、「ピット」という。) については、昨年 12 月にピット内に設置されている 2 台の監視用水位計の測定値に大きなずれが生じる「偏差大」警報等が発生した。その後の調査でピットに近接している陸側遮水壁によりピット内の水が凍ったことが原因と推定されたことから、対策が検討されていた。(図 1)

- ・ 前回の現地確認 (令和 3 年 1 月 13 日) と比較して、ピット及びその周辺に外観上の変化は確認されなかった。
- ・ 東京電力によれば、ピット内に凍結防止用ヒーター及び循環ポンプを設置し、令和 3 年 3 月までに対策を完了したとのことであった。



(写真 3)
No. 56 サブドレンピット及び
周囲の状況

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。